

1. 活動の概要

6月12日(水)、浜田市立松原小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。「①奈良時代の復習と浜田市の歴史」と「②奈良の大仏づくりを学ぼう」を実施しました。

①は、奈良時代の説明資料と浜田市の文化財マップを使い、授業で習った奈良時代を思い出し、身近に遺跡や仏像、お城などがあることを学びました。奈良時代のお金として和同開珎の造り方を実演しました。時間の関係で、児童は見学をするだけになってしまい、自分たちで作れたかったようです。また奈良の大仏をつくる様子や人々の思いが描かれているDVDを視聴し、大仏の学習に興味が大変湧いたようです。体育館では大仏パネルで奈良の大仏を組み立てました。早く作れるように暮らすが一致団結していました。完成後は体育館の2階に上がり、大仏の部分など疑問に思ったところを質問し、答えることで、それぞれの形に意味があることがわかりました。

2. 活動の様子

1)奈良時代の復習と浜田の歴史



「大仏ってこうやって造ったんだ！」



2)古代体験活動～奈良の大仏づくり

「これは台座だ」

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- 浜田に国分寺があると知りませんでした。
- 和同開珎づくりをしてみたかった。
- 大仏パネルは難しかったので心に残った。
- 話がわかりやすかった。
- 浜田や島根の歴史をもっと知りたくなった。
- 本物の大仏を見てみたい。

- 昔のお金の造り方がわかった。

2)担任の先生から…

- 大仏の完成品を見ながら質問できたのは良い。
- 時間があれば大仏の横に寝ころぶなどの体験もできると良かった。
- 歴史に興味を持つ子が多く、興味が更に深まったようです。

3)埋文センターから

浜田市の文化財マップを使うことで、学校周辺にも数多くの遺跡が存在することが分かり、浜田城の話など子ども達も色々な話をしていました。昔の浜田の中心地であったこと、交通の要所であったことなどもわかったようです。DVD での大仏作りの視聴は大変わかりやすかったようですが、時間の関係で実演だけに終わった和同開珎づくりは自分でしたいとアンケートに書いている児童もあり、なんとか実施できるように時間の調整をすべきであったと反省しています。

大仏パネルは 12 分で完成し、12 年で大仏が完成したこととあわせて昔の作業を思い描く児童もいました。歴史に興味を持っている児童が多く、更に深まったようです。